

Press Release

(行事・催し物)

件名	美唄市地域資源活用型事業化実現事業補助金活用事業 『美唄雪うなぎ』研究施設 発表会	
実施日	2月25日(金)	
タイムスケジュール (詳細に記載願います)	日時	内 容
	2月25日(金)15時00分開始	研究施設披露(うなぎ稚魚入れ作業を公開) 研究内容の発表
場所	美唄市茶志内726番地20 ホワイト・ラボ (ホワイト・ラボ横の白いビニールハウス)	
主(共)催	地域資源活用型事業化実現事業コンソーシアム 代表者 (株)ホワイトデータセンター	
開催の趣旨	美唄市中小企業等振興条例施行規則第4条に基づき交付決定した「地域資源である雪解け水を活用したうなぎの養殖等の事業化検討事業」を行う下記のコンソーシアムが、雪冷房とサーバーの廃熱を利用したうなぎ養殖の実験を開始。(実験施設への稚魚入れ作業を公開します) 【補助事業者】 コンソーシアム 代表者 (株)ホワイトデータセンター 構成員 (株)ミリオナ化粧品 〃 美唄自然エネルギー研究会	
内 容	別紙のとおり 問い合わせ先 (株)ホワイトデータセンター(東京オフィス) TEL:03-6252-6476 E-mail:info@w-dc.info 担当:寺谷 現地担当者:本間(090-2819-7950)	
参加対象		
参加人数		
備 考		
担 当 課	経済観光課 商工労働係 担当:係長 丸山 徹 電話0126-63-0111 (商工労働係直通)	

【報道資料】

2022年2月19日

株式会社ホワイトデータセンター

雪冷房とサーバーの廃熱を利用して「うなぎ養殖の実験開始」 初の“北海道産”うなぎの生産へ 卸売も視野に

株式会社ホワイトデータセンター(本社：北海道美唄市、代表取締役社長：伊地知晋一、以下 WDC)は、美唄市の除排雪を利用した雪冷房と、データセンターのサーバーから排出される廃熱を使用して、うなぎの養殖実験を開始します。



■サーキュラエコノミー（循環型経済）な養殖事業

WDCの主力事業であるデータセンター事業において、サーバーから出る廃熱は、北海道の冬において貴重な熱源となります。その廃熱と、豪雪地帯である美唄市の除排雪を使用した雪冷房、地域資源である雪解け水を活用し、うなぎの陸上養殖実験を開始します。

■地域連携事業

養殖実験を行うにあたり、美唄市地域資源活用型事業化実現事業「地域資源である雪解け水を活用したうなぎ養殖等の事業化検討事業」共同研究コンソーシアムを立ち上げ 2022 年 2 月 25 日より飼育試験を開始します。雪解け水を利用したうなぎの生産試験（WDC）、雪解け水供給体制試験（株式会社ミリオナ化粧品）、雪解け水を利用した加工品の開発（美唄自然エネルギー研究会）が連携して、初の北海道産うなぎを生産します。

“美唄雪うなぎ”は年間 30 万匹の生産量を目標とし、2023 年に全国の百貨店やスーパーマーケットなどでの販売を目指します。稚魚の供給、飼育技術の支援は、関西の養鰻事業者「神戸うなぎ淡水株式会社（兵庫県）」の支援を受ける。公開する試験設備のうなぎ稚魚の飼育数は、6000 匹を予定。

（本研究は、「美唄市地域資源活用型事業化実現事業補助金」を活用しています）

■研究体制発表会のご案内

WDC は、美唄市地域資源活用型事業化実現事業「美唄うなぎ」研究体制に向けて、下記の通り、研究施設披露（うなぎ稚魚入れ作業を公開）、研究内容の発表を行います。

ご多様の折、誠に恐縮ではございますが、是非報道関係者皆様のご出席を賜りたくご案内申し上げます。

【開催概要】

- ・ 日時 2022 年 2 月 25 日 金曜日 15:00 開始
- ・ 場所 北海道美唄市茶志内 726 番地 20 ホワイト・ラボ
(ホワイト・ラボ横の白いビニールハウス)
- ・ 内容 美唄市地域資源活用型事業化実現事業「美唄雪うなぎ」研究施設 発表会

本件に関するお問い合わせ、発表会のご出席等は、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】 株式会社ホワイトデータセンター（東京オフィス）
TEL : 03-6252-6476 E-mail : info@w-dc.info
担当：寺谷

現地担当者：本間（090-2819-7950）